

平成 27 年 3 月 23 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

平成 27 年 3 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成27年2月6日に公表した平成27年3月期の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年 2 月 6 日発表)	百万円 1,153,000	百万円 505,000	百万円 551,000	百万円 120,000	円 銭 82.17
今回修正予想(B)	1,165,000	517,000	555,000	76,000	52.04
増減額(B-A)	12,000	12,000	4,000	△44,000	
増減率(%)	1.0	2.4	0.7	△36.7	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月期)	1,334,625	733,610	750,077	183,690	125.78

2. 修正理由

原油価格の下落等に基づく事業環境の悪化による固定資産の減損損失(*)約350億円を特別損失として計上、および廃鉱費用約60億円の計上等を主因に、当期純利益は前回予想比440億円減益の760億円となる見通しです。

なお、平成27年3月期の期末配当金の予想については、前回予想を変更せず、1株当たり9円を維持します。(1株当たりの年間配当金は18円)

<（*）固定資産の減損損失について>

（1）対象資産

当社の連結子会社であるインペックスカナダ石油株式会社が推進する「ジョスリンオイルサンドプロジェクト」に係る事業用資産、および、同じく連結子会社であるインペックスチモールシー株式会社が推進する「チモール海共同石油開発地域 JPDA06-105 鉱区プロジェクト」に係る事業用資産。

（2）減損損失の計上額： 約 350 億円

<内訳>

ジョスリンオイルサンドプロジェクト： 約 275 億円

チモール海共同石油開発地域 JPDA06-105 鉱区プロジェクト： 約 75 億円

（3）減損損失の発生経緯、および理由

ジョスリンオイルサンドプロジェクトは、カナダ連邦アルバータ州におけるオイルサンドの上流開発プロジェクトであり、当社は平成 19 年 11 月より同プロジェクトに参画しています。また、チモール海共同石油開発地域 JPDA06-105 鉱区プロジェクトは、東チモール民主共和国とオーストラリア連邦により共同管理されているチモール海共同石油開発地域内に位置する JPDA06-105 鉱区における原油生産プロジェクトであり、当社は平成 23 年 10 月から同鉱区内のキタン油田にて原油の生産を行っています。

今般、ジョスリンオイルサンドプロジェクト、およびチモール海共同石油開発地域 JPDA06-105 鉱区プロジェクトにおいて、原油価格の下落等に基づく事業環境の悪化を踏まえ事業用資産の減損テストを実施した結果、当該プロジェクトにて事業用資産の回収可能価額が帳簿価額を下回ることとなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上するためです。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

以 上